

発信の"ズレ"がひと目でわかる指針マップ

もう"空振り発信"で疲弊しない

届くための「ズレ見直し」構造図

「毎日がんばってるのに、なんで届かないんだろう…」

その原因は、あなたの努力じゃなく

"方向のズレ"にあります。

そこで、自分の発信のどこがズレているかを

一発で見える化できる PDF をお渡しします。

全体像：3つのズレ構造（図解イメージ）

【届け先（WHO）】

↓

【届け方（HOW）】

↓

【言葉（WHAT）】

ズレがある例

- ・ 届け先：初心者向けのはずが、専門用語を多用している
- ・ 届け方：共感を飛ばして、いきなりオファーしている
- ・ 言葉：読者が使わない表現（例：「自己効力感」）を使っている

① 届け先のズレ — WHO

【あなたの現在地】 → 【想定読者】 → 【読者の信念・抵抗】

例：

- ・ 自分は「副業経験者」なのに、「完全初心者」に向けて話している
- ・ 読者は「怪しさを警戒」してるのに

「圧の強い実績アピール」で信頼を失っている

→ 対処法：

読者の価値観・前提（何を信じていて、何を嫌うか）を言語化する。

② 届け方のズレ — HOW

【感情の言語化】 → 【共感】 → 【問題提起】

→ 【視点提示】 → 【解決策】 → 【行動喚起】

例：

- ・冒頭から「これがオススメです！」と推してしまう
- ・「なぜそれが必要か？」という背景説明が飛ばされている

→ 対処法：

「自分が何を言いたいか」ではなく

「相手がどう受け取るか」で構成を組む。

③ 言語のズレ — WHAT

【読者が普段使ってる言葉】 ←→ 【発信者の言葉】

例：

- ・読者は「時間ない」と言ってるのに、「優先順位が低い」と返してしまう
- ・「自信がないだけなのに、"セルフイメージが低い"と言って伝わらない」

→ 対処法：

読者の口グセ、検索ワード、SNS コメントから言葉を拾って翻訳する。

Before / After イメージ

■NG 例（ズレてる）

「私の強みは3つあります」→「え？誰？なんの話？」で離脱。

■OK 例（整ってる）

「副業やってるけど、手応えゼロ。そんな人へ」

→「あ、自分かも」で読み進める。

活用ガイド

- ・このマップをプリントして、あなたの投稿を照らし合わせてみてください
- ・3つのラインがスムーズにつながっているか、確認するだけでOKです
- ・ズレを見つけたら、そのポイントから修正（順番でなくても大丈夫）

最後に

発信が届かないのは、あなたのせいじゃない。

ただ「方向と構造」がズレているだけ。

ズレが整えば、努力は一気に"成果"に変わります。

この一枚を、迷ったときの「発信の地図」として使い倒してください。

ここまで読んで「ズレてたかも」と感じたなら、

それはもう前に進めています。

必要なのは努力ではなく、方向の微調整。

実際にそのズレをどう見つけ、どう整えてきたのか。

その過程を、そのまま書いています。

note | 実体験ベースの言語化

<https://note.com/haruseiri>

ブログ | 考え方と設計

<https://sukiguide.com/>

ハル | 3日で反応が変わる AI 発信設計士